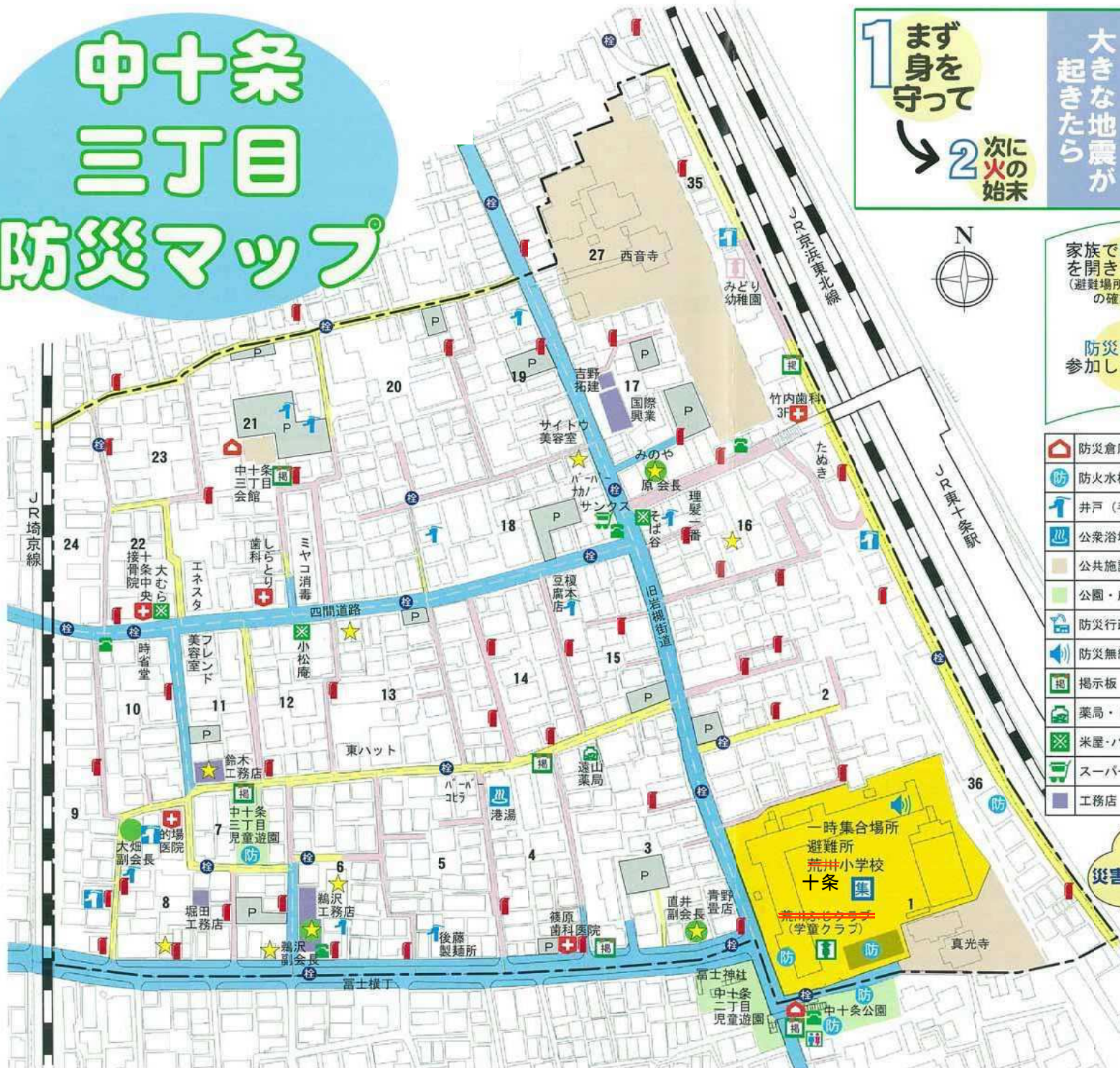


# 中十条 三丁目 防災マップ



**1** まず身を守って  
→ **2** 次に火の始末

大きな地震が起きたら

大きな火災になったら  
↓  
十条台・北区中央公園一带  
~~清水坂公園~~  
(避難場所)に避難しましょう

十条荒井小学校  
(避難所)に避難しましょう  
↑  
①火災の危険がなくなり  
②家に戻れない場合は



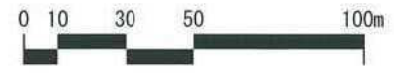
家族で防災会議を開きましょう  
(避難場所や連絡方法の確認など)  
防災訓練に参加しましょう

日頃からの取り組み

家具の転倒を防止しましょう  
自宅の耐震診断耐震補強をしましょう  
(区役所にご相談ください)

防災倉庫・資材置場	街路消火器
防火水槽・貯水槽等	消火栓
井戸(手動式ポンプ)	井戸(電動式ポンプ)
公衆浴場	集合場所
公共施設、寺社等	こどもクラブ
公園・広場	幼稚園・保育園
防災行政無線(基地局)	駐車場(空地)
防災無線(スピーカー)	公衆電話
掲示板	病院・医院等
薬局・ドラッグストア	公衆トイレ
米屋・パン屋・そば屋・飲食店等	町会役員(会長・副会長)
スーパー・食品品店・コンビニ	消防団員
工務店	幅員4m以上
	" 2.7m以上4m未満
	" 2.7m未満

安否確認は  
災害用伝言ダイヤル  
**171**





## 中十条 3 丁目防災マップについて

この地図は、中十条 3 丁目町会の 32 名の皆様が調査し、作成したものです。地震や火事などの災害が起きたときに役立つ避難場所、消火器、消火栓や病院、公衆電話などの位置を載せていますので、お住まいの周りや避難場所への行き方などを確認してみてください。

また、以下の項目についても調査しましたが、プライバシーに配慮しマップには載せていません。大きな地震などの災害の際には危険を及ぼす可能性もありますので、チェックしてみてください。

### ○ブロック塀(へい)－99箇所

今回の調査では、高さ1メートル50センチ以上のブロック塀を調べました。長い塀、短い塀など、町内には全部で99箇所ありました。きちんと工事した塀であれば、簡単に倒れることはありませんが、宮城県沖地震ではブロック塀の倒壊によって死者が出ており、注意が必要です。

自宅のブロック塀の基礎や補強状態(配筋、控壁)がどうなっているか確認しましょう。また、よく通る道のブロック塀について調べて、防災マップに記入してみてください。



### ○塀、門柱、室外機などに乗っていた植木鉢－6箇所

きれいな草花は通る人の目の保養になりますが、不安定な場所にあるので、落ちると危険です。落ちないように固定する等の配慮をお願いします。

### ○その他

電柱が傾いている(2箇所)、駐輪が多い(1箇所)、消火器がゴミ箱の陰で見えづらい(1箇所)などの指摘がありました。

## 心掛けたいこと(地震時と平常時)

### 【地震時は】

#### ○まず自分の身を守りましょう

大きく揺れているときには、立っていることさえ困難です。無理に動こうとせず、机の下に入ったり、家具から離れたりして揺れがおさまるのを待ちましょう。



#### ○次に火の始末

大きな揺れがおさまったら、あわてず落ち着いて火の始末をしましょう。

#### ○家族の安全を確認しましょう

家族の安全が確認できたら、隣近所の安否確認をして助け合いましょう。

#### ○大きな火災の時は、~~清水坂公園~~ 十条台・北区中央公園一帯に避難しましょう

地震などによって大きな火災が起きたときには、~~清水坂公園~~ 十条台・北区中央公園一帯(避難場所)に逃げましょう。火災の危険がなくなって、家が燃えたり壊れたりして戻れないときに、~~業~~ 十条小学校(避難所)に行きましょう。

#### ○安否確認は災害用伝言ダイヤル171

地震直後は、回線が混雑して電話がつながりにくくなっています。NTTの災害用伝言ダイヤル171にかけると、伝言を録音したり聞いたりすることができます。忘れてイナイ(171)と覚えましょう。



### 【普段から】

#### ○日頃から安全点検をしましょう

住まいの耐震補強や家具の転倒防止をしましょう。また、家から避難する場合の道を何パターンか調べておけば、いざというときにあわてずにすみませう。



#### ○家族との連絡方法を決めておきましょう

非常時での家族間の連絡方法を決めておきましょう。

#### ○防災訓練に参加しましょう

いざというときに落ち着いて行動するために、日頃から防災訓練に参加しましょう。

#### ○非常持ち出し袋を準備しましょう

3日分程度の水や食料、救急薬品や常備薬など、家庭に合った防災用品を準備しておきましょう。



#### ○ご近所と力を合わせましょう

阪神・淡路大震災では、家具や倒壊した家の下敷きになった人の多くが近所の人によって救助されました。日頃からのおつきあいを大切にしましょう。また、救助のための道具類や方法など、工務店が役立つことも覚えておきましょう。